
君を想う

嶺羅

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

君を想う

【Nコード】

N9157G

【作者名】

嶺羅

【あらすじ】

新一がいなくなつて1年。そして、新一が逝つてから1年後の蘭の気持ち。死にネタです。

(前書き)

新一が死んでしまった設定です。
無理な方はbackお願いします

花びらが舞う。

その一枚一枚が鮮やかな色を放ち、

静かに地面へと舞い散る。

君がいなくなって一年。

そして、君が先に逝って、一年。

もう君がいなくなってから二年も経つんだね。

君は、“厄介な事件”で、コナン君として私の前に現れたよね。

しかし、変わり果てた姿でたったけど。

組織とかが逮捕された。

そして、それと同時に、
小さい命が死のふちにおいやられていた。

その時君は、ただ『愛してる』の一言だけを残して、
この世を去ったよね。

今でもはつきり覚えてるよ。

あるとき私ね、あなたの正体に気づいてたんだ。

だけど、待ってることにしたの。

君の口から聞きたくて。

君の方から言っただけで。

でも結局、君は隠したままだったね。

だけど哀ちゃんから聞いたんだ。私を守るためだったんだって。

たぶん君は、私があなただけに気づいたこと、

知ってたんだよね。

だからあえて、最期はあの言葉だけだったんだって、今は思う。

あれから一年、“新一”としてじゃなくても、

ずっと側に居てくれたこと、

『愛してる』って言うてくれた事。

嬉しかったよ。

会いたい。でももう会えない。

だから私は、私の心の中にいる君を、いつも想うよ。

思い起こせば 君といた17年間は

きらきらと輝く思い出となった。

私の思い出にはいつも

隣にはあなたがいた。

忘れることなんてできない君は

私の一番大切な人だよ。

そんな君を私は、

ずっと　ずっと

想い続けるよ。

(後書き)

新一ファンの方スイマセン；
私も新一ファンですが；；

新一が組織と闘って命を落として
1年後の蘭の気持ちを書きました。

蘭かなり前向きですね

ひきずってるかとおもいきや^^；

感想・評価お願いします。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9157g/>

君を想う

2010年10月13日20時27分発行